

# EN (絶滅危惧 I B 類)

スズキ目 ハゼ科

カテゴリ判定基準：A-2

## チワラスボ

*Taenioides cirratus* (Blyth, 1860)

旧レッドリストカテゴリ		
1991	1999	2007
—	—	EN

本種は、静岡県から沖縄県に至る河川汽水域や河口に面した干潟に生息している。生息密度が薄く、まとまって獲れることはない。分類学的に混乱しており、日本に生息する種の正確な学名や何種が分布しているのかなどが明らかではない。分類学的にこれからの精査が望まれる種であるとともに干潟に生息する魚類の分散戦略を考える上で興味深い種である。

*Taenioides cirratus* usually inhabits the somewhat hard muddy bottom of brackish water areas of rivers and tidal flats facing river mouths. The species occurs from Shizuoka Prefecture to Okinawa Prefecture, in Japan. Individual numbers of *T. cirratus* are assumed to have decreased owing to environmental degradation following large-scale reclamation of tidal flats. The taxonomic confusions remain as to which scientific names are applicable to Japanese *Taenioides* species, or more fundamentally, how many *Taenioides* species are distributed in Japan.

### 基礎情報

■**形態** 最大全長は約25cm。体は細長く伸張する。下顎の下面にまばらな髭を持つ。眼は小さく、頭部の上方に位置する。口は上向きに開く。背鰭は1基で基底が長く伸び、後端が尾鰭につながる。臀鰭基底も長く、後端が尾鰭につながる。背鰭と臀鰭が尾鰭と接続する部位には欠刻がある。体色は赤褐色を呈し、成熟した個体の腹部は、光沢のある黄褐色に輝く。同所的に複数の種が混在している可能性が指摘され、分類学的に混乱している。

■**分布域** 日本国内では静岡県から沖縄島に分布する。国外では、朝鮮半島、中国、台湾、インド～太平洋から報告されているが、分類学的に混乱している可能性が強く示唆されており、正確な分布域は把握されていない。

■**生息環境** 河口干潟のやや固い泥底中に巣穴を掘って生息している。

■**生活史** 生活史に関する知見はほとんどない。まとまって採集されることはまれで生息密度は低い。海域で約1ヶ月の浮遊期を過ごし、体長9～10mmで着底する。

### 現在の生息状況

■**分布域の現況** 琉球列島における正確な分布は、明らかではないが、やや固い泥干潟に生息しており、そのような環境が埋め立て等で消失しつつあるため、生息適地が減少傾向にある。琉球列島では、まとまって獲れることはなく、生息密度は低い。

■**生息地の現況** 多くの泥干潟が埋め立てにより消失しており、生息できる場所が減少傾向にある。また、都市河川の河口のように著しい水質汚濁が進行すると生息できなくなる。

■**個体数の現況** 生息密度が低いことと、泥の中に生息しているため、正確な個体数の増減を把握することが難しい。基本的に泥干潟の消失面積にともない個体群も減少傾向にあると推測される。

### 存続を脅かす要因

本種の個体数の減少は、干潟に流入する河川の改修 (13) や隣接地の陸域の改変 (23、24) および港湾工事、埋め立て (14) などによる環境の消失が原因であると考えられる。本種の生息する河口の干潟は、開発の影響を直接に受けやすい場所であり、かつ粒子の細かい軟泥底を必要とするため、環境の改変により底質が変化

すると容易に姿を消すことが予想される。採集される個体数が国内の分布域全体で減少している。

### 保護対策の現状

とくになし。

### 特記事項

分類学的に混乱しており、日本に生息している種が確定しておらず、その分布域と合わせて

分類学的に興味深い種である。

### 参考文献

Itani, G. and T. Uchino, 2003. Burrow morphology of the goby *Taenioides cirratus*. J. Mar. Biol. Ass. U. K., 83: 881-882.

Kurita, T. and T. Yoshino, 2012. Cryptic Diversity of the Eel Goby, Genus *Taenioides* (Gobiidae: Amblyopinae), in Japan. Zoological Science, (8): 538-545.

中坊徹次 (編), 2000. 日本産魚類検索: 第二版. 東海大学出版会, 東京. 1748pp.

執筆者: 立原一憲 (琉球大学理学部海洋自然科学科生物系海洋生物生産学講座)